

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書 番号23, 24, 32~35 落橋防止構造	落橋防止構造と横変位拘束構造が一体型タイプとなっている場合、下部工ブラケットのプレートサイズが大きく、その製作について、①NEXCO積算基準書15-2鋼構造物の製作による積上げ、②見積りのどちらをお考えでしょうか。ご教示願います。	金抜設計書 番号23, 24, 32~35は見積活用方式の適用としているため、貴社の施工計画に基づき算出してください。
2	2023年7月3日付け 質問回答書44 No. 2 特記仕様書P24 23-6落橋防止構造 23-6-2作業内容 設計図 206/667他	2023年7月3日付け質問回答書44 No. 2において、上部工ブラケットのシール材施工費は単価項目に含まれるとご回答されていますが、数量とシール材の仕様について、ご教示願います。	数量は、ブラケットとコンクリートまたは無収縮モルタルとの接触面の周長(t=20mm)とお考え下さい。 仕様は、「構造物施工管理要領」II-4-4-4 「シーリング材」に適合するものを想定しています。
3	2023年7月3日付け 質問回答書44 No. 8 (各種アンカーボルト)	2023年7月3日付け質問回答書44 No. 8において、ナット、ワッシャー、アンカーボルトについては見積採用とご回答されていますが、落橋防止構造、横変位拘束構造、上部工ブラケット、下部工ブラケットに関連する、①すべてのアンカーボルトは見積採用か、または②D51のみのアンカーボルトは見積採用か、どのようにお考えでしょうか。ご教示願います。	①すべてのアンカーボルトで見積採用を想定しています。

4	特記仕様書P 2 3 2 3 - 5 緑端拡幅工B	アンカー工の削孔について、水平方向削孔の場合はNE XCO積算基準書に示されている ①コアボーリング、②削岩機、③電気ドリルのどちらを適用するのでしょうか。または、他の積算基準を適用するのでしょうか。その場合、積算基準の名称を合わせて、ご教示願います。	アンカーA、Cの場合、②削岩機を想定しています。アンカーBの場合、①コアボーリングを想定しています。
5	特記仕様書P 2 4 2 3 - 6 落橋防止構造	金田高架橋P 1 (A 2 側)～岩根西高架橋P 2 7 (P 2 6 側)の作業内容にある不陸調整樹脂パテ材の施工について、①ブラケット背面に注入するか、または②左官工法を用いて調整するか、ご教示願います。	①ブラケット背面に注入を想定しています。
6	2 0 2 3年7月3日付け 質問回答書4 4 No. 6	2 0 2 3年7月3日付け質問回答書4 4 No. 6 において、「裏込めにグラウトパイプ配管の使用は想定しておりません」とご回答されていますが、裏込めの施工方法について、ご教示願います。	裏込めの施工方法に指定はないため、貴社の施工計画に基づきお考えください。